



第94巻 第2号 史学·地理学·考古学

論説				
国造制と大化改新北 大化前代の支配構造		康	宏	(1)
植民地期朝鮮・台湾民族運動の 相互連帯に関する一試論小 ——その起源と初期変容過程を中心に——	野	容	照	(35)
研究ノート				
鎌倉期における「悪党」の語義変化根 ヶ	Щ	泰	史	(69)
ハプスブルク帝国下ボスニアにおける				
イスラーム統治とその反応 ······・・・・・・・・・・・・・・・・・・米 レイス・ウル・ウレマー戦をめぐって	岡	大	輔	(89)
書				
井上文則著『軍人皇帝時代の研究				
	立	広	明	(108)
泉雅博著『海と山の近世史』米	家	泰	作	(115)
紹 介				
服部良久・南川高志・小山哲・金澤周作編				
『人文学への接近法――西洋史を学ぶ――』青	谷	秀	紀	(122)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

受贈

詓

(二〇一〇年五月一〇日~

二〇一〇年一二月二四日

東洋大学文学部紀要史学科篇(東洋大学)

札幌大学総合研究(札幌大学附属総合研究札幌大学総合論叢(札幌大学)二九

所)

一(太子町教育委員会)平成一七・一埋蔵文化財調査年報―国庫補助事業対象分

八・一九・二〇年度

究所)五三東アジア研究(大阪経済法科大学アジア研

EAST ASIAN REVIEW (The Asian

松本市史研究(松本市)二〇 経済学研究(九州大学経済学会)七六―六

史學雜誌(史學會(東京大学文学部內))信濃(信濃史学会)六二—五

経済研究(一橋大学経済研究所)六一―二一一九―四

大分県立歴史博物館研究紀要(大分県立歴三―三

國史學(国史学会)二〇〇日本史研究(日本史研究(日本史研究会)五七三

史博物館) 一一

日本歴史(日本歴史学会)七四五人文研究(小樽商科大学)一一九

MEL(更からを A) ――日人文地理(人文地理学会)六二―二日本歴史(日本歴史学会)七四五

東アジア研究(大阪経済法科大学アジア研歴史(東北史学会)一一四

究所)五二

山形大学歴史・地理・人類学論集(山形大立命館法政論集(立命館大学法学会)八

学歴史·地理·人類学研究会)一一1形大学歴史·地理·人類学研究会)一一

社会経済史学(社会経済史学会)七五―四学会)五〇―一~四合併号

歴史研究の最前線(総研大 日本歴史研究史迹と美術(史迹美術同攷会)八〇四、一〇一〇十二

学院文学研究科)五九東北大学文学研究科研究年報(東北大学大専攻 国立歴史民俗博物館)一二

|済大学学会)四 九州国際大学法学論集(九州国際大学法学

一二の研究(奈良文化財研究所飛鳥資料館)飛鳥資料館研究図録(東アジア金属工芸史

用 Historia Mexicana (El Colegio De Mex 日本歴史学協会年報(日本歴史学協会)二

社会経済史学(社会経済史学会)七五―五ico)二三六

日132年(1947年) 日本民俗学(日本民俗学(日本民俗学会)二六一史學研究(広島史学研究会)二六八

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内))神道史研究(神道史学会)五八―一白山史学(東洋大学白山史学会)四六

三康文化研究所年報(三康文化研究所)四一一九一五

國史學(国史学会)二〇一越佐研究(新潟県人文研究会)六七

日本歴史(日本歴史学会)七四六信濃(信濃史学会)六二―六

四九一一

龍谷大学経済学論集(龍谷大学経済学会)

文化(東北大学文学会)七三—三・四

龍谷大学経済学論集 経済科学(名古屋大学大学院経済学研究 九州国際大学経営経済論集(九州国際大学 九州国際大学経営経済論集(九州国際大学 立命館法學(立命館大学法学会)三二九 史迹と美術(史迹美術同攷会)八〇五 龍谷大学経済学論集(龍谷大学経済学会) 國立政治大學歷史學報(國立政治大學歷史 政大史粹(政大史粹編纂小組)第十八期 岩手史学研究(岩手史学会)九一 龍谷大学佛教文化研究所紀要(龍谷大学佛 大美和(大神神社社務所)一一九 ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The 古代文化(古代学協会)六二―― 龍谷大学経済学論集(龍谷大学経済学会) Official Journal of THE ANTHROPO 四九一四 LOGICAL SOCIETY OF NIPPON) | 四九一三 四九一二 學系編印)第三十三期 経済学会) 一六一三 経済学会) 一六一二 教文化研究所)四八 一八—— (龍谷大学経済学会) 史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内)) 史遊(京都教育大学歴史·地理学研究会) 東洋史研究(東洋史研究会)六九—— 日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社 日本史研究(日本史研究会)五七五 韓国史研究彙報(韓国国史編纂委員会)一 信濃(信濃史学会)六二―七 史學 (三田史学会) 七九一三 学習院大学東洋文化研究所所報(学習院大 神道宗教(神道宗教学会)二一六 研究紀要(富山県立山博物館)一七 韓国民族文化(釜山大學校韓国民族文化研 国家學會雜誌(国家学会事務所) | 二三— 歷史研究(大阪教育大学歷史学研究室)四 一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委 四九 七 学東洋文化研究所)二〇一〇年度版 第一五号 会科学院日本研究所中華日本学会)二〇 究所) 三六 五・六 一一九一六 -0: =: 平城宮発掘調査出土木簡概報 飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(奈良 法学志林(法政大学法学志林協会)一〇七 史迹と美術(史迹美術同攷会)八〇六 立命館文学(立命館大学人文学会)六一三 史料(皇學館大學史料編纂所)二二六 日本歴史(日本歴史学会)七四七 奈良文化財研究所紀要 (奈良文化財研究 人文地理(人文地理学会)六二―三 アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究 神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会) 東方學(東方學會)一二〇 東京大学東洋文化研究所要覧(東京大学東 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告 東方學會報(東方学会)九八 龍谷史壇(龍谷大学史学会)一三一 所) 一三九 洋文化研究所) 二〇一〇 所) 二〇一〇 書 研究発表と座談会(西上実)三七 員会)三五— 研究所)三九 文化財研究所)二二 (奈良文化財

立命館産業社会論集(立命館産業社会学二	愛知大学文学論叢(愛知大学文学会)一四海南史学(高知海南史学会)四八	七	経済論究(九州大学大学院経済学会)一三	史泉(関西大学史学・地理学会)一一二	九	学編(京都女子大学大学院文学研究科)	京都女子大学大学院文学研究科研究紀要史	大学人文学部)四九	茨城大学人文学部紀要社会科学論集(茨城	日本民俗学(日本民俗学会)二六二	一一九—七	史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))	経済研究(一橋大学経済研究所)六一―三	学会)一六—三	九州国際大学教養研究(九州国際大学教養	(早稲田大学教育学部) 五八	学術研究—地理学‧歴史学‧社会科学編—	ョン学科論集(茨城大学人文学部)八	茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーシ	院歷史語言研究所)八一—二	中央研究院歴史語言研究所集刊(中央研究	社会経済史学(社会経済史学会)七五—六
中山大学学報社会科学版(中山大学学報編集部)五〇―一	中山大学学報社会科学版(中山大学学報編大学院人類学系)七一	国立台湾大學考古人類学刊(国立台湾大學	日本民俗学(日本民俗学会)二六三	六四	長野県立歴史館たより(長野県立歴史館)		経済論集(ソウル大学校経済研究所)四九	日本歴史(日本歴史学会)七四八	八 -	LOGICAL SOCIETY OF NIPPON)	Official Journal of THE ANTHROPO-	ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The	日本史研究(日本史研究会)五七六	信濃(信濃史学会)六二—八	究所)三七	韓国民族文化(釜山大學校韓国民族文化研	(岡崎市教育委員会) 二〇一〇	岡崎市東部地域遺跡詳細分布調査報告書	岡崎市史研究(岡崎市教育委員会)三〇	四八	栃木県立文書館だより(栃木県立文書館)	会)四六—一
立命館文学(立命館大学人文学会)六一七五	三康文化研究所所報(三康文化研究所)四館国際平和ミュージアム)一八―一	立命館国際平和ミュージアムだより(立命	八	成大歴史学報(国立成功大学歴史学系)三	一一九一八	史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))	七・八	国家學會雜誌(国家学会事務所) 二三	学会) 五一——	鹿児島経済論集(鹿児島国際大学経済学部	美術研究(東京文化財研究所)四〇一	駿台史學(駿台史学会)一四〇	立命館法學(立命館大学法学会)三三〇	度	附属漢学情報研究センター)二〇〇七年	東洋學文献類目(京都大学人文科学研究所	ico) 1	Historia Mexicana (El Colegio De Mex-	史迹と美術(史迹美術同攷会)八〇七	集部)五〇一三	中山大学学報社会科学版(中山大学学報編	集部)五〇一二

(国際日本文化研究センター)四二	日本研究国際日本文化研究センター紀要 2	社会経済史学(社会経済史学会)七六―一 2	東方學報(京都大学人文科学研究所)八五	史學研究(広島史学研究会)二六九	科)五八—二	経済科学 (名古屋大学大学院経済学研究 - 立	0-0-1=	考古学報(中国社会科学考古学研究所)二	古代文化(古代学協会)六二一二	学系) 四二	台湾師大歴史学報(国立台湾師範大学歴史	学系) 四一	台湾師大歴史学報(国立台湾師範大学歴史	史観(早稲田大学史学会)一六三	日本文化史研究(日本文化史学会)四一	奈良学研究 (帝塚山大学奈良学学会) 一二 口	史迹と美術(史迹美術同攷会)八〇八	一〇 四	会科学院日本研究所中華日本学会)二〇 中	日本学刊 JAPANESE STUDIES(中国社 車	信濃(信濃史学会)六二—九	日本史研究(日本史研究会)五七七	史料(皇學館大學史料編纂所)二二七	日本歴史(日本歴史学会)七四九
二・三合併号	経済学研究(九州大学経済学会)七七―	経済学研究(九州大学経済学会)七七——一	院歷史語言研究所)八一—三	中央研究院歴史語言研究所集刊(中央研究	哲學研究(京都哲學會)五九〇	立命館法學(立命館大学法学会)三三一	米沢史学(米沢史学会)二六	鴨台史学(大正大学史学会)一〇	日本歴史(日本歴史学会)七五〇	人文地理(人文地理学会)六二—四	日本学士院紀要(日本学士院)六五―一	所) 二〇一〇	奈良文化財研究所概要(奈良文化財研究	藝林(藝林會)五九一二	信濃(信濃史学会)六二—一〇	日本史研究(日本史研究会)五七八	人文學報(京都大学人文科学研究所)九九	一一九—九	史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))	東洋史研究(東洋史研究会)六九―二		オリエント(日本オリエント学会)五三―	五〇	韓国史研究彙報(韓国国史編纂委員会)一
一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委	攷会創立八十周年を迎えて	史迹と美術(史迹美術同攷会)史迹美術同	史迹と美術(史迹美術同攷会)八〇九	学系)四三	台湾師大歴史学報(国立台湾師範大学歴史	会)四六一二	立命館産業社会論集(立命館産業社会学	六五	長野県立歴史館たより(長野県立歴史館)	室)七	日本音楽史研究(上野学園日本音楽資料	日本歴史(日本歴史学会)七五一	五	桃山歴史・地理(京都教育大学史学会)四	信濃(信濃史学会)六二—一一	日本史研究(日本史研究会)五七九	一〇. 五	会科学院日本研究所中華日本学会)二〇	日本学刊 JAPANESE STUDIES(中国社	九・一〇	国家學會雜誌(国家学会事務所)一二三—	一九一一○	史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))	経済研究(一橋大学経済研究所)六一―四

員会) 三五一

経済論集(ソウル大学校経済研究所) 四九

立命館史學(立命館史学会)三一

文化史學(文化史学会)六六

歴史(東北史学会)一一五 日本民俗学(日本民俗学会)二六四

文化(東北大学文学会)七四—一・二

CHRONOS クロノス(京都橋女子大学女

立命館文学(立命館大学人文学会)六一八 性歴史文化研究所)三二

経済論究(九州大学大学院経済学会)一三 神道宗教(神道宗教学会)二一七

須坂市域の史料目録(須坂市誌編さん室)

古代史の研究(関西大学古代史研究会)|

史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))

——九———

神女大史学(神戸女子大学史学会)二七 海事史研究(日本海事史学会)六七 人文地理(人文地理学会)六二-五

政治経済史学(日本政治経済史学研究所 大美和(大神神社社務所)一二〇

な論考です。また、日本統治下での民族問 の時代の議論に大きな一石を投じる意欲的 五一九~五三C

史料(皇學館大學史料編纂所)二二八 信濃(信濃史学会)六二―一二

九州国際大学経営経済論集(九州国際大学 会) 一七—— 九州国際大学法学論集(九州国際大学法学

Historia Mexicana (El Colegio De Mexico)二三八

経済学会) 一七——

立命館国際平和ミュージアムだより(立命 館国際平和ミュージアム) 一八―二

アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究

所) 一四一

國史學(国史学会)二〇二

人文學(同志社大学人文学会)一八六

日本史研究(日本史研究会)五八〇

集後記

な課題に挑む北論説は、低調気味だったそ 七年ぶりです。国制構成の復原という難解 古代史論説が本誌に掲載されるのは、実に 九四巻二号をお届けします。大化前代の

野論説は、組織結社の具体相を明らかにし 党」、欧州の帝国統治下のイスラム教徒 論です。研究ノートでは、中世日本の「悪 み、この方面の研究の一層の進展を促す好 ながら、不鮮明だった歴史事象の解明を試

◆史学研究会ホームページ・アドレス

http://www.shigakukenkyukai.jp/index.html

という政治史的には脇役が論点ですが、興

味深い議論が展開されます。

(富井眞)

平成二二年度科学研究費補助金(研究 本誌には独立行政法人日本学術振興会

成果公開促進費)が交付されております。

二〇一一年三月三一日発行二〇一一年三月二五日印刷 京都市左京区吉田本町京都大学文学研究科内 第九四卷第二号 (通卷第四八六号) 定価一、二〇〇円

FAX (〇七五) 七五三-二七八七

理事長 夫 馬 進 振替京都 O I O Y O - 1 - 五 I 五 五 番 史 学 研 究 会

発行人

中 · 村 印刷株 印刷 株式会社京都市南区上鳥羽藁田二九

印刷所

の連携という未解明の課題に取り組んだ小

史学研究会例会のお知らせ

左記のとおり、史学研究会例会を開催いたします。参加は無料で、事前の予約も不要です。多数ご来会くださいますよう、ご案

内申し上げます。

В 時 二〇一一年四月一六日(土) 午後一時~午後六時一五分

京都大学大学院文学研究科·文学部 新館二階 第三講義室

テーマ 都 市

開会挨拶

史学研究会理事長

夫馬

進

プログラム

第一部(午後一時一五分~三時四〇分)

土口史記 「戦国・秦代の県」

深澤芳樹「藤原京の成立」

「中近世移行期における港町の景観変化」

山村亜希

第二部 (午後四時~六時)

藤本仁文 「近世上方幕府直轄都市と譜代藩」

「都市の移住者と文化

一九世紀後半のパリにおける地方出身者の事例―

閉会挨拶 京都大学文学研究科歴史文化学専攻代表

※プログラム終了後、懇親会(参加無料・予約不要)を予定しております。

史 学 研 究 숲

129 (363)

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCIV No. 2

March 2011

CONTENTS

Audites.	
KITA Yasuhiro, The <i>Kokuzō</i> System and the Taika Reformation: The Structure of Local Government prior to the Taika Reforms	(1)
ONO Yasuteru, A Tentative Study of International Cooperation between the Korean and Taiwanese National Movements during the	
Colonial Period, Focusing on Its Origins and Transformation Process during the Initial Stage	(35)
Note:	
NEGAYAMA Yasufumi, Semantic Changes of the Word Akutō during the Kamakura Period	(69)
YONEOKA Daisuke, Religious Politics of the Habsburg Monarchy and Reactions from the Islamic People of Bosnia: Focusing on the Establishment of the Reis-ul-Ulema	(89)
Book reviews:	
INOUE Fuminori, Studies on the Age of the Soldier Emperors: Transformation of the Roman Empire in the Third Century A.D. (ADACHI Hiroaki)	(100)
A.D. (ADACHI HIroaki) IZUMI masahiro, Early Modern History of Coastal Village and	(108)
Mountain Village (KOMEIE Taisaku)	(115)
Missollaneous :	

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円(税込)

Autialog .

ISSN 0386-9369